

平成28年度 全日本少年少女武道（柔道）錬成大会要項

1. 趣 旨

全国の小学生を対象に基本錬成を主眼とし、柔道の正しい普及並びに心身の錬磨と相互の親睦を図り、我が国の将来を担う青少年の健全なる育成に資する。

2. 主 催

公益財団法人 日本武道館・公益財団法人 全日本柔道連盟

3. 後援（予定）

スポーツ庁・日本武道協議会・公益財団法人 東京都柔道連盟

4. 主 管

東京都柔道道場連盟・東京都高等学校体育連盟柔道専門部

5. 期 日

平成28年7月31日（日）午前9時開会

6. 場 所

日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3

7. 参加人員

- (1) 基本錬成 1,500名
- (2) 試合錬成 600チーム

8. 参加資格

- (1) 参加する選手は健康上支障ないと認められた小学生であること。団体の監督は（公財）全日本柔道連盟指導者資格B指導員以上の者であること。
※2チーム出場する場合は、1名のAまたはB指導員資格所持者が必ず帯同し、2チーム目以降はCまたは準指導員の帯同でも可とする。

参加する団体は団体登録していること。また、試合錬成に参加する選手は、その団体を通して競技者登録していること（申込書に必ず全柔連メンバーIDを記入のこと）。

本大会に出場するために臨時に編成された団体は認めない。

- (2) 基本錬成

㊦ 学年・男女は問わないが、基本的な技術（受身等）を習得している者に限る。

㊧ 参加者は左胸の下に主催者が用意したステッカーを横に貼ること（縦8.5cm×横10cm）「当日受付にて渡す」。

- (3) 試合錬成

㊦ 試合は低学年（3、4年生）の部と高学年（5、6年生）の部に分けて行い、チーム数は1登録団体低学年1チーム、高学年1チームまでとする（申込書に必ず監督・選手の全柔連メンバーIDを記入のこと）。

㊧ 選手は必ず決められた学年内（学年適齢）で編成し、体重の軽い選手から配列する（選手5名、監督1名）。
2年生以下の参加は一切認めない。

㊨ チーム編成において、選手が5名に満たない場合は、後詰めに配列する。

㊩ 男女の別は問わないが、試合に習熟している者に限る。

㊪ 一旦提出されたメンバーのオーダーは、基本的に変更は認めない。提出された選手の中で、負傷者が出た場合のみ開会式前まで補充を認める。〔㊧㊨を適応する〕

- (4) 同一選手による基本・試合錬成の重複参加は認めない。

- (5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは、感染が判明した選手については、すみやかに医療機関で治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

- (6) 脳震盪（のうしんとう）対応について、選手および監督は下記事項を遵守すること。

㊦ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

㊧ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする〔なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること〕。

㊨ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

㊩ 当該選手の指導者は大会事務局および（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

9. 参加方法

- (1) 申 込 方 法

別紙申込用紙に所定事項を記入の上、郵送またはインターネットのどちらかで申し込むこと（併用厳禁）。

◀郵送の場合▶

申込先 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館振興課柔道係あて
定形最大（長3）の封筒で郵送のこと。

◀インターネットの場合▶

詳細は、別紙インターネット参加申込受付案内を参照のこと。

新規参加団体は、事前に団体登録を申請すること。

- (2) 参 加 費

基本錬成……1人 700円 試合錬成……1チーム 7,000円

同封の銀行振込依頼書で申込締切期日迄に送金すること。なお、一旦納入された参加費は一切返金しない。

参加者1名につきプログラム1冊、参加章1個を贈る。

- (3) 振 込 先 三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通3817459
コウエキザイダンホウジンニッポン ブドウカントクベツカイケイジュウドウグチ
公益財団法人日本武道館特別会計 柔道口

- (4) 申 込 締 切

平成28年5月27日（金）

- (5) 申込取消し及び登録監督・選手の変更

申込み後の参加取消し、登録監督・選手を変更する場合は、プログラム掲載締切の都合上、6月24日（金）までに別紙変更届にて、前記住所日本武道館柔道監督・選手変更係あて送付すること。

締切以降の変更については、7月下旬に送付する実施要項を参照のこと。

- (6) 参 加 服 装

選手及び監督は柔道衣（白）着用「上履きも持参のこと（怪我及び感染症防止のため）」

※柔道衣（白）を着用していない者は道場内（試合場も含む）には入れない。

柔道衣の下にアンダーウェアを着用することは認めない。

- (7) ゼ ッ ケ ン

参加者は背中に、原則として縦20～25cm×横30～35cm程度の大きさの、男子は白地に黒文字で、女子は白地に朱文字で、それぞれ所属の団体名と個人名を記入したゼッケンをつけること。ゼッケンのない選手は参加を認めない。

- (8) 団体表示旗（入場式用）

参加団体を表示する旗を持参すること（旗の規格はおよそ縦150cm×横50cm程度とする）。

※先端のヤリは、取り外すか、丸い物に変えるなど危険防止に努めること。

10. 集合場所及び受付時間

開催日当日、参加団体は会場正面玄関向かって左側のテントに集合し、午前7時15分から8時20分までに受付を終了すること。

8時40分 入場行進。9時 開会式。午後5時 閉会式の予定。

11. 錬成内容

- (1) 基本錬成 礼法（立礼・座礼）、模範演武、準備運動、受身、指導稽古。

- (2) 試合錬成

㊦ 試合は各試合場ごとにトーナメント方式で行い、勝ち残ったチームがブロック決勝戦を行う。

㊧ 国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定及び本大会申し合せ事項による。

12. 表 彰

- (1) 全体を16試合場、8ブロックに分け、各ブロック毎に優秀賞(1)、優良賞(1)、敢闘賞(2)の団体に賞状・賞品を贈り、個人にも賞状を贈る。

- (2) 優秀団体に日本武道館より優秀旗（持廻り）を授与する。

- (3) 前年度優秀チームに日本武道館よりレプリカを授与する。

- (4) 優秀賞、優良賞入賞者は表彰式に参加のこと。敢闘賞の表彰は確定次第行う。

13. 安全対策

安全管理には万全を期すが、実施中万一事故が発生した場合は、医師または看護師により応急処置を施し、さらに病院等で診療を受けた場合、その初診料は、主催者が保険の範囲内で負担する。健康保険証（コピー可）を持参のこと。なお、日本武道館では大会中のみ（大会会場への往復途上は含まれない）の傷害保険に加入する。

14. 注意事項

- (1) 出場選手の学年・体重詐称については団体失格とし、以後出場停止処分とする。

- (2) 大道場には選手・監督以外は入場できない。

15. そ の 他

- (1) 宿泊等の斡旋業務を下記旅行者に委託している。詳細は別紙参照のこと。
近畿日本ツーリスト株式会社 トラベルサービスセンター東日本「平成28年度全日本少年少女武道錬成大会」係
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24 西新宿KFビル3階 TEL 0570(064)205 FAX 03(6730)3230
- (2) 大会参加団体には7月下旬に大会参加実施要項（細則）を送付する。

〔問い合わせ先〕（公財）日本武道館振興課 TEL 03(3216)5134 FAX 03(3216)5117

登録については、（公財）全日本柔道連盟 TEL 03(3818)4199

（土・日・祝日を除く、午前10時～正午・午後1時～午後5時）

以上